

公安委員会定例会議(第1回)の開催状況

第1 日 時 令和2年1月8日(水)

午後1時45分 ～ 午後5時00分

第2 出席者 曾我部委員長、増田委員、渡部委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官
生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長
警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

1 委員長説示

年始に、ラグビーを題材としたテレビドラマを見た。昨年のワールドカップでの日本チームの活躍を機に、「ワンチーム」という言葉をよく聞くようになった。もともとは、南アフリカ共和国の大統領であったネルソン・マンデラが、ラグビーで国を盛り上げ、一つにまとめようと、この「ワンチーム」という言葉を使ったことから広く知れ渡ったと聞いている。

ラグビーでは、まず、一人一人に“考えろ、考えろ、そして、考えたことができるように訓練しろ”と教え込み、自分自身で、考える力を引き出すことを大切にしながら、チーム一丸となった場合に大きな力となることを感じた。

昨年、県警察においては、平成25年から目標に掲げる交通事故死「アンダー50」を達成するなど、大きな成果を上げているが、この成果に満足することなく、昨年の反省を踏まえた上で、職員一人一人が県民の信頼と期待に応えるためには何をすべきかをよく考え、組織全体が「チーム県警」として活躍する年であることを期待している。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録について

総務室から、令和元年第32回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 警察署協議会委員欠員補充候補者の決定について

総務室から、警察署協議会委員欠員補充候補者の決定について伺いがあり了承した。

- (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (4) 警察職員の援助要求について
警備部から、警察職員の援助要求及び援助要求に対する回答について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 令和2年春季人事異動日程について
警務部長から、令和2年春季人事異動日程について報告があった。
- (2) 令和元年度総合監察等の実施結果について
首席監察官から、令和元年度の総合監察等の実施結果について報告があった。
- (3) 監察案件に関する報告について
首席監察官から、監察案件に関する報告があった。
- (4) 職業安定法違反等事件検挙について
生活安全部長から、職業安定法違反等にかかる事件検挙について報告があった。
- (5) 令和2年中の交通重大事故抑止対策について
交通部長から、令和2年中の交通重大事故抑止対策について報告があった。
- (6) 道路交通法違反等事件検挙について
交通部長から、道路交通法違反等（死亡ひき逃げ事件）の発生及び検挙について報告があった。
- (7) 警備概況について
警備部長から、オリンピック聖火リレーに係る警備概況について報告があった。
- (8) 初任科生卒業式の実施について
警察学校長から、初任科生卒業式の実施について報告があった。
- (9) 公安委員会宛ての要望について
総務室から、公安委員会宛ての要望について報告があった。
- (10) 禁止命令の実施について
生活安全部から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁

止命令及び実施状況について報告があった。

(11) 視聴覚教材の作成について

生活安全部から、職員に対する視聴覚教材の作成について報告があった。

(12) 不利益処分に係る聴聞の実施について

生活安全部から、店舗型性風俗特殊業者に対する不利益処分に係る聴聞の実施結果等について報告があった。

(13) 表彰式の実施結果について

生活安全部から、『第15回 I P R「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2019』で行われた表彰式の実施結果について報告があった。

4 その他

本部長から、「昨年の交通事故死や刑法犯認知件数抑止目標の達成に安堵することなく、さらなる抑止に向け、まだやるべき対策があると認識している。職員一人一人が昨年の反省点を自覚した上で、何をやるべきかを考えて行動できるよう、チーム県警として、県民の期待に応えていきたい。県警を管理する公安委員会には、引き続きアドバイスをお願いしたい。」との発言があった。

以上